

**RI施設における放射線管理を目的とした測定の信頼性確保に関する
専門研究会（第2回会合）
議事録**

1. 日時：2021年8月5日（木）13:00～14:30

2. 場所：Web開催（zoom方式）

3. 出席者（順不同、敬称略）

委員

黒澤忠弘（産総研、主査）、牧大介（京大、幹事）、加藤昌弘（産総研）、高橋知之（京大）
桧垣正吾（東大）、稲垣昌代（近大）、清宮貴之（千代田テクノル）、水野裕元（富士電機）、
片岡憲昭（都産技研）、内田芳昭（放計協）

欠席：秋吉優史（大阪府大）

オブザーバー

比嘉剛志（東北大）、和田雅志（日本たばこ産業）、谷村嘉彦（原子力機構）、中島定男（富士電機）、吉田晃（日立製作所）、後藤健士（日立製作所）、大野雅子（東京電力）、中畷純也（原子力機構）、山口一郎（保健医療科学院）、竹安正則（原子力機構）、占部逸正（福山大学）、瀬川嘉之（高木学校）

4. 議題

- ① 前回会合の議事録について
- ② 検討状況について
- ③ 規格班の実施例
- ④ アンケート班の実施例
- ⑤ 今後のスケジュールについて
- ⑥ その他

5. 配布資料

資料1：検討状況について

資料2：規格班の実施例

資料3：アンケート班の実施例

資料4：今後のスケジュール

6. 議事内容（進行：牧幹事）

6.1 前回会合の議事録について

既にメールにて議事録内容は確認・了承済みであり、学会サイトに上げている。
今後も同じような手続きで行う。

6.2 検討状況について（資料 1）

- ・第 1 回会合では幹事の方から検出器提案を行い、その中でも重要な測定器についてアンケートと関連規格調査を行うということに決まった。
- ・第 1 回会合の後、アンケート班及び規格班で Zoom 会議を行って、測定器毎に担当者を割り振りした。資料 1 は現在の調査進行状況を示したものである。資料の表中で○にしているものは現在進行中のもの。重要なモニタ（どこにもありそうなモニタ）はアンケート班、規格班ともに進んでいるが、レアな測定器は未着手の場合がある。

6.3 規格班の実施例（資料 2）

- ・測定器の種類によって、構成規格の広がりが出てくる。例えば、ガンマ線エリアモニタの場合、製品 JIS と校正 JIS の両方を調査する必要がある。さらに、中性子エリアモニタの場合は製品 JIS が見当たらないので、メーカーが社内でどのような対応をしているかを参考にする。
- ・JIS 中の受け渡し試験項目で、製品によってはメーカーとユーザーの合意に委ねられている場合がある。このような場合は、（規格班担当の）富士電機殿に具体的なことをお聞きして検討する。
- ・ガスモニタ（加速器で問題になる希ガス、その他トリチウム、ヨウ素）について、希ガスは JIS 規格が存在するが、ヨウ素やトリチウムは JIS 規格が存在せず、IEC 規格に調査範囲を広げている。
- ・具体的な例として放射性希ガスモニタの場合を説明した。このモニタは製品 JIS のみである（JIS Z4317）。
- ・特に重要な説明として、点検、校正、その他、の考え方をどのように区別しているかが重要。
- ・校正 JIS（JIS Z4511）については、現在、試行錯誤中ではあるが、ユーザーにとっての校正の使い勝手を判断した上で纏めている。
- ・各自が抱えている規格の調査が済んでから、まだ誰も手を付けていない規格を調査する。
- ・アンケートの結果次第で調査対象は増えるが、優先順位を決めて調べる。

6.4 アンケート班の実施例（資料 3）

- ・回答者が答えやすいように、Google form 化が楽なように、可能な限り内容の斉一化を図っている。
- ・アンケートができれば、委員のみなさんに試しに回答いただいて、選択肢を増やしていきたい。

=> (意見など)

☆1つの種類の測定器であっても、複数の校正方法がある場合はどうするか→複数回答できるようにできないか？

☆大規模事業所の場合、各セクションで回答を作ることができるように、エクセルファイルでも回答ができればよい。

☆アンケートの対象に、病院は入ってくるか？

入ってくる可能性は大いにあるので、アンケート内に事業形態を問う設問を入れる。

☆Google form の回答進め方について、メールアドレスは必須とし、答えられる設問だけ答えても先に進むことができるようにする。

6.5 今後のスケジュール (資料4)

- ・今年度の学協会発表残りは2件(日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会、日本RI協会放射線安全取扱部会年次大会)の予定。
- ・次の全体会合は9月下旬ころを予定している。

6.6 その他

- ・人員について

富士電機：中島定男氏はコアのオブザーバーとして規格班での活動をお願いする。

日立製作所：吉田晃氏はコアのオブザーバー、後藤健士氏は研究会委員として、アンケート班の活動をお願いする。

- ・黒澤主査よりの報告

今回の法令改正に対応した医療関係者向けのアンケート調査が行われているとのことで、その研究班にコンタクトを取っており、8月末 Web 会議で行う予定である。第3回会合で様子をお伝えできると思う。

以上